

St.Mary's

セント・マリーズ

第16号

2014年1月

ご自由に
お持ちください



目 次

INDEX

2	インタビュー「ひと」 副院長 大部敬三	4・5	活動日記 地域のみなさん	8	健康エクササイズ 正しい腹筋の仕方 健康献立 りんごのコンポート
3	診療科訪問 小児科 秋田幸大・診療部長	6	病気と向き合う インフルエンザ予防対策	9	連携登録医のご紹介
7		7	医療トピックス	10・11	外来診療体制

今回のひと

診療統括部門2(周産期) 副院長

大部 敬三

=小児科出身

1981年、久留米大学医学部卒業。同大学小児科学教室に入局、1986年医学博士学位取得。久留米大学医学部付属病院、聖マリア病院などに勤務後、1989年米国バージニア大学留学。帰国後、済生会日田病院、同八幡病院勤務などを経て、2002年聖マリア病院着任。専門分野は小児総合診療、小児腎臓など。

**五感を駆使した決断力が必要です。
救急医療維持へマンパワーを確保。**

——小児科医を志した理由は。

当時私の描いていた医師像が、すべての病気を診ることのできる「総合医」であったことでしょう。さらに小児医療の基盤となる医師の五感を駆使して決断する力、検査では代用できない目に見えない技術に魅力を感じました。

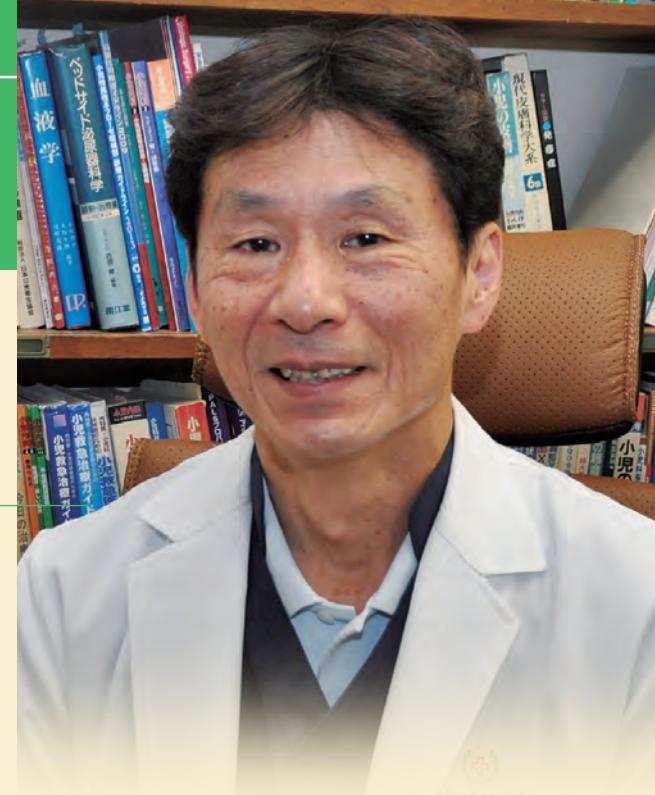
——当院の小児医療の特徴は。

急性期を中心とした医療です。1970年代にはすでに県南、さらに県を越えて地域の小児新生児救急医療を担うまでに発展してきました。全国の24時間365日の小児周産期医療の先駆けと言えるでしょう。1992年母子総合医療センターとして認定され、2006年には久留米市と周辺市町村の公的機関となる久留米広域小児医療センターを院内に開設しました。地域の診療所、久留米大学病院、久留米大学医療センターとの強い連携の中で、小児新生児の重症疾患の入り口として、ハイリスク母体管理や小児新生児の総合的集中治療施設としての役割を果たしています。

——小児救急医療の現況を。

少子化にもかかわらず日祝日夜間には1日あたり50～60人の子どもさんが来院されます。核家族化に伴う育児不安の増大や、メディアを通した情報過多といった社会的背景があるのではないでしょうか。多くは軽症で、「大丈夫ですよ」と声を掛けるとホッとされる保護者の方が多いですね。

小児周産期は元々医師のQOLが低いため、小児科医や産科医を目指す若者が少ないのが実情です。また最近では都会への医師の偏在もあり、地方での小



児科医、産科医の慢性的不足が続いている。今後の救急医療を維持していくためにはマンパワーの確保が重要な課題です。

——チーム医療の取り組みを。

総合病院ならではのメリットを感じます。成人系の診療科と連携することで、より進んだ専門性の高い検査治療技術を学び、現場に生かしていくことができます。またコ・メディカル部門の充実は素晴らしい、質の高いスタッフが昼夜を問わず診療に参加し、主治医を中心に一丸となって患者さんの診療を行っています。

——診療統括部門2担当の副院長として、運営の方針を。

今後もさらに診断・治療・検査技術のレベルアップをはかり、医療の質をあげていきたいと思っています。もし将来マンパワーに余裕があれば、さらに広域に医療を展開していきたいですね。若手医師には基本的なことは厳しく指導しますが、それ以外はできるだけ自分で考え、自分で調べ、自身の力で診療させるようにしています。広い視野を持つこと、謙虚な姿勢で医療に臨むこと、相手の立場で物事を考えることを推奨しています。

——日々のモットー、心身のリフレッシュ法は。

敢えて言うなら「清廉潔白」です。嘘のつけない不器用な性格です。元々運動することが好きで、最近平日はジョギング、休日には登山を楽しんでいます。楽しむよりも体を追い込むことで、頭をリフレッシュしています。

introduction

小児科

安全でより質の高い小児救急医療を。

聖マリア病院小児科は、久留米地区を中心とした福岡県南部という一つの医療圏のなかで、安全でより質の高い小児救急医療を提供できるように努力しています。

救急診療（平成24年度）

平成24年度の夜間救急外来を含む外来患者数は40,404人、1日平均すると約110人が受診されています。救急車搬入は年間1,000件を超え、今後も増加する事が予想されます。入院患者のベ人数は年間11,060人にのぼり、平均在院日数は6日間前後で小児病棟・集中治療室はフル活動しています。

集中医療

特に、痙攣重積発作を主訴とする急性脳炎・脳症、細菌性髄膜炎などの急性中枢神経疾患は当院に集中しています。小児集中治療室における脳低温療法や急性血液浄化療法は、脳蘇生における新たな治療戦略として注目を集めています。



小児ICU



小児病棟

外来診療

開業医・関連病院からの紹介患者数は着実に増加傾向を示し、年間約2,000人（紹介率47%）を超え、1日平均で約6人が受診されています。地域の医療機関が密に連携を行い、地域全体で子ども達の健全な発育を支える体制を構築する事で、より良い小児医療サービスを提供できると考えます。

児童虐待防止医療ネットワーク事業

福岡県は、増加する児童虐待の早期発見と対応の向上を図るため「児童虐待防止医療ネットワーク事業」を立ちあげ、県南地域においては聖マリア病院が指定されました。各地域の病院・診療所などからの相談・助言に応じるほか、行政機関や施設等と連携を図っていくことで、児童虐待防止体制を整備・充実させることを目的としています。

～看護スタッフより～

国際医療センター 地域医療支援棟 3階病棟は、365日24時間 新生児から学童期(15歳まで)の小児内科・小児外科・小児歯科などの子ども達を、緊急性の高い患児・手術患者を中心に入院の受け入れを行っています。また、病状に合わせて小児ICUと病棟を利用し、医療の質・安全性を向上させるため医師・看護師だけでなく、保育士・臨床心理士・リハビリ・臨床工学技士などの多職種チームで治療に向き合い、子ども達が一日も早く健康が回復できる環境づくりに努めています。

小児科診療部長 秋田 幸大

小児救急診療の中で、子ども達が元気になって見せてくれる笑顔から、私達もまた元気をもらっています。未来を託す子ども達の健やかな成長を願い、スタッフ一同より良い小児医療の充実に取り組んでいきます。



てあらいフェスティバル開く



「てあらいフェスティバル」がこのほど、聖マリア病院内で開かれました。演劇やいろいろな体験を通して、子どもたちに手洗いの大切さを学んでもらおう、との狙いです。

国連児童基金(ユニセフ)など、水と衛生の問題に取り組む国際機関や大学、企業など13の組織から成る「せっけんを使った手洗いのための官民パートナーシップ」が、国際衛生年の2008年、「世界手洗いの日」(10月15日)を制定しました。国内でも、日本ユニセフ協会が主催して2009年から、手洗いプロジェクトがスタートしています。



当院の「てあらいフェスティバル」もこういう動きに賛同、開催しました。

当日は手洗いを呼び掛ける紙芝居や手洗い教室、事前に近隣の幼稚園・保育園で行った手洗い教室の写真展や園児たちの絵の展示などがありました。また、指の間や爪の先など細かいところまで手を洗う大



切さや、手に付着したばい菌の写真を展示。親子で見入っている場面も。福岡市の劇団による演劇では、食事の前に手洗いを怠った少年が腹痛に襲われるというストーリー。大きな人形が次々と繰り出し、子どもたちの歓声で沸きました。会場では、久留米市のマスコット人形・クルッパもお目見え。日本ユニセフ協会や業者さんのブースも設置され、
(写真は会場の様子)

フィリピンからの研修員に義援金

フィリピン・レイテ島の台風被害はなお、現地の人たちに多くの困難をもたらしています。聖マリア病院では、国際協力機構(JICA)研修で当院に滞在していたレイテ州立病院長のアブシン・オフェリア・コルベス医師に義援金約71万円を贈りました。当院国際事業部の呼び掛けで職員などから集まったものです。被災した現地では銃による強盗や盗難が多発しており、危険を考慮してコルベス医師には目録を渡し、指定の口座に送金しました。

コルベス医師は感激した面持ちで目を潤ませ、「みなさんの温かい気持ちを胸に帰国します。現地はまだ混乱が続いているですが、必ず復興してみなさんに報告します」とメッセージを寄せました。



JICA研修で当院を訪れていた
フィリピン・レイテ州立病院
長に、職員からの義援金の目
録を手渡す島院長

地域の
みなさん

聖母の家への慰問で 交流しています。

聖徳保育園主任保育士 田中 るり子

当園は、聖マリア病院西側の住宅地の中にあり、公立民営化の事業により社会福祉法人ふじ福祉会聖徳保育園となり9年目を迎えました。移管前は、0件だった聖マリアお勤めの方々の利用も今現在、100世帯中2割を超える保護者の皆さんにご利用頂いております。

聖徳保育園の保育理念は、“明るい笑顔、元気な子ども”地域と関わりながら一人一人の子どもを大切にし、保護者からも安心して預けられる保育園づくりを目指しています。保育の主体は年齢別保育です。また、2階のランチルームを利用して3、4、5歳児が、一つのテーブルに仲良く座り、毎日おいしい給食を食べています。

校区としての聖マリア病院との関わりは、昨年度より始めた(介護老人保健施設)聖母の家への慰問です。聖母の家のおじいちゃん、おばあちゃんと触れ合うのは初めてで最初は緊張していた子どもたちでしたが、遊戯などを披露し、にこやかな笑顔で拍手を頂くうちに緊張もほぐれました。最後はみんなでペットボトルマラカスを持ち、元気に「あわてんぼうのサンタクロース」を歌いました。今年も伺います。



聖母の家を慰問して、遊戯を披露



聖マリア病院看護師さんによる、手洗い指導も

－大事な手指消毒－

インフルエンザ予防対策



医療の質管理本部長
感染科診療部長
本田 順一

皆さんはすでにワクチンを接種されていると思います。ここではワクチン以外についてお話しします。(ワクチン接種はインフルエンザ予防の最低条件です)



◆うつさないために

この時期咳が出る、熱っぽい、などインフルエンザ様の症状が出た場合はマスクを着用することです(咳エチケット)。周りの人たちにうつさないために重要なことです。インフルエンザウイルスは咳と一緒に空中に散布されます。散布されたウイルスがまわりの人の鼻や口の粘膜に付着し、感染してしまいます。マスクをすることでウイルスの飛散を軽減することができます。また不用意に手を鼻や口に持っていくことで自分の手にウイルスを付けてしまい、その手でいろいろな所を触ってしまいます。ウイルスが付着した場所を周りの人が触り、鼻や口を触ることで感染してしまいます。これを防ぐためには、手洗い(手指消毒)が必要です。いつも以上に頻繁に手指衛生(手洗い、手指消毒)を敢行し、周囲の環境にウイルスを付着させないようにしましょう。



◆うつらないために

この時期になるとマスクを常に着用している人をよく見かけます。マスクは常時着用するべきではありません。インフルエンザ様症状(咳をしている、発熱しているなど)がある人と正面でお話しする場合などはウイルスを鼻や口に浴びてしまします。その時にマスクを着用すべきです。また、マスクを触らないことが重要です。マスクの表面にはウイルスが付着している可能性があり、そこを触ることで自分の手にウイルスを付けてしまい、不用意に鼻や口に触ることで感染します。もしマスクを触ってしまったら、手洗いや手指消毒をしましょう。また、マスクは頻繁に交換しましょう。マスクの表面は非常に汚れていてウイルスが付着していると考えてください。



一番大事な予防策は、手指衛生です。この時期インフルエンザに罹った人が大勢います。その人たちがいろいろな所を触っています。その場所を触ることでウイルスを手につけて自分が感染してしまいます。これを防ぐには、頻繁に手指衛生です。

インフルエンザ予防対策の一番は、ワクチン接種と手指消毒です。

院内の話題・お知らせを紹介します

TOPICS
1

医療の質向上へ全国大会を開催



カトリック医療施設協会全国大会の様子

社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院が事務局となって、医療の質向上を目指す全国的な研究大会が昨秋、相次いで開催されました。

一つは、10月下旬久留米市内の会場で行われた「日本カトリック医療施設協会第49回全国大会」です。「理念と共に歩む医療」をメインテーマに、カトリックの精神を経営理念に掲げる全国26の病院・施設から約200人が参加しました。

カトリック福岡司教区の宮原良治司教が基調講演。「カトリック医療施設の根底に流れている共通の理念を、もう一度再確認を」と話されました。続いて「終末期の受け持ち患者と家族の外出に付き添って」など20の事例発表がありました。2日目には「カトリック医療施設が直面している倫理的諸問題について」と題して、日本カトリック神学院の牧山強美司祭と、日本カトリック医師会の石島武一名誉会長が白熱した討論を繰り広げました。

もう一つは、11月中旬に福岡市内の会場で行われた「V H J 研究会 第24回職員交流研修会」です。V H Jとは、「Voluntary Hospitals of Japan」の略で、医療の質や病院経営の質の向上を目指して研究活動を展開し相互の研鑽を図る、有志民間病院による組織です。今回の研修会は北海道から沖縄まで26の病院から約350人が参加しました。

V H J 研究会の麻生泰会長が開会の挨拶を行った後、九州大学大学院医学研究院環境医学分野の清原裕教授や、中村学園大学短期大学部食物栄養学科の松隈紀生教授が講演。「経営指標」「看護管理」「医療安全」「病院IT」「急性期リハビリテーション」など七つの分科会に分かれ、熱心な討議が行われました。



V H J 研究会職員交流研修会で挨拶する、麻生泰・V H J 研究会会長



熱心に講演に聴き入る、交流研修会参加者

TOPICS
2

ローマ法王庁の駐日大使が来院

昨年11月30日、ローマ法王庁駐日全権大使のヨゼフ・チエノツティ大司教が、聖マリア病院を訪れ患者さんや職員らと交流しました。大刀洗の今村教会100周年記念ミサに出席されたのを機に、立ち寄られたものです。当院側から、グループの内容を説明、籃胎漆器などのおみやげを贈りました。チエノツティ大司教は「信仰に裏付けられて職務を全うしていることに感動した。たくさんの人の助け、支えで運営されている。一人一人に祝福をお届けしたい」と話されました。チエノツティ大司教は病棟なども視察され、患者さんを励まされていました。



新生児室を訪れた、バチカン・チエノツティ大司教

広報から



新年、どのようにお過ごしでしょうか。今年もみなさまに読んでいただける広報誌を目指し、編集に頑張りたいと思います。よろしく、お願ひいたします。



第15回 正しい腹筋の仕方

このコーナーでは心と身体が元気になるエクササイズ情報を届けします。
今回は「肩甲骨」です。

患者さんや人間ドック受診者の方々の中には、地道に腹筋運動を続けているのになぜお腹が引っこまないの?と悩みを抱えている人が多くいらっしゃるようです。あなたもそういう経験ありませんか?筋力トレーニングの中でも「腹筋」は正しいフォームで行わないとなかなか効かない種目です。以下、間違った方法と改善点を2つ挙げてみます。

NG① 仰向けゴロリからスタートしない

上体をすべて床につけたとき、腹筋(腹直筋)は休憩している状態です。また、起き上がったとき、上体を垂直に立てた姿勢で静止するのも同じく腹筋が休んでいるわけで、残念ながらこの方法では「鍛えている」ことにはなりません。力が抜けるほど起き上がらない! 仰向けにペタッと寝てしまわない! が鉄則です!!



NG② 背筋を伸ばしたままの起き上がりはNG

腹筋(正しくは「腹直筋」)は肋骨の下の方と肋骨を近づけるような動作をしないと収縮しません。したがって、背中を丸めるような動きが必要です。背筋を伸ばしたまま起き上がる方法は、全く腹筋には効いておらず、大腿部の筋肉が主に使われることになるので注意しましょう!



いかがでしょうか? 以上の点から分かるように、「腹筋(腹直筋)」は上体をダイナミックに、というよりも「ほんの少し」動かせば鍛えることができる、とご理解いただけたと思います。

・・・・・・・・・・・ 今日は基本的な腹筋種目「クランチ」を紹介いたします ・・・・・・・・

①膝を立てて床に仰向けに。両足の幅は腰は腰幅程度で。膝は90度の角度で、手は耳の後ろに軽く添える。この時、肩甲骨の上部が少し浮いているところからスタート。



息を吐きながら!

②上体を丸めて、肩甲骨全体が浮くところまで起こしたら、ゆっくり①まで戻す。床にペタッと寝て腹筋を休ませないように行う。



息を吸いながら!

健康献立

りんごのコンポート

●栄養指導管理室●

りんごにはいろいろな栄養素があります。りんご100g中には、1.2gの食物繊維が含まれています。食物繊維は、余分なコレステロールや、体に良くない物質を身体の外に運び出す働きがあります。りんごに含まれる食物繊維「ペクチン」は、腸内の善玉菌を増やし、便通を整えてくれます。また、りんごに含まれるポリフェノールは、抗酸化物質として知られています。りんごポリフェノールは▼脂肪の燃焼を助ける▼悪玉コレステロールを減少などの働きが注目されています。

材料 <1人前>

りんご	85g
砂糖	3g
ポッカレモン	0.5cc
野菜ジュース	15cc
水	10cc
ホイップクリーム	4g
砂糖(④)	0.2g
牛乳	5.5cc

作り方

- ①りんごの皮をむき、芯を取り除く
- ②①のりんご・砂糖・野菜ジュース・水を火にかけ、落とし蓋をして軟らかく煮る(あくはよく取る)
- ③②煮詰まったら、ポッカレモンをふりかける
- ④ホイップクリームに砂糖・牛乳を加えて、よく泡立てる
- ⑤器に盛り、④のホイップクリームを絞り袋に入れて、擠り出して飾る

ポイント

おいしいりんごの見分け方は、▼ツルが太くて、みずみずしい▼手で持って、しっかりした重みがある▼形が整っていて、全体の色回りが良い▼甘い香りがするなどです。



かかりつけ



のお医者さん

当院の連携登録医の先生をご紹介します。

医療法人原鶴温泉病院

べっき しげふみ

戸次 鎮史 理事長

診療科目 内科、胃腸科、循環器科、外科、整形外科
皮膚科、泌尿器科、リウマチ科、リハビリテーション科
浮羽医師会会长



この場所での開業の経緯

先代の父が九州高等医専卒業後、久留米大学整形外科教室に入局。勤務医時代に、温泉を使ったリハビリテーション治療を目指し、県内を探し回って現在の地を見つけ、昭和41年に開業しました。今でこそいろいろありますが、温泉を利用したリハビリ医療は当時、県内で初めての試みだったのではないでしょうか。昭和58年から私が継いでいます。

主な専門・研究のテーマ

整形外科が専門です。特にリウマチ、リハビリテーション医療に力を注いでいます。

対応可能な検査

MRIを導入しています。

診療の傾向

主には、回復期リハビリ病棟、医療型療養病棟があり、急性期から在宅への中間的な亜急性期・慢性期の医療を提供しています。介護保険では、ケアプランサービスや通所リハビリ、及び訪問リハビリを実施しています。

趣味、学生時代のエピソード

趣味は運動で、ゴルフです。読書や映画鑑賞も。久留米大学医学部時代は、6年間のほとんどを剣道に明け暮れました。台湾での親善試合で勝利した思い出が懐かしいですね。3年前までは地元の子どもたちを指導していましたが、残念ながら今は忙しくて時間が取れないんですよ。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	-
13:30~17:30	○	○	○	○	○	-	-

※日曜・祝日休診

☎ 0943-75-3135

FAX 0943-75-3345

原鶴温泉病院

住 所:〒839-1304 うきは市吉井町千年628番地 駐車場:50台

交通アクセス:大分自動車道朝倉ICより車で15分、杷木ICより車で10分 JR久大本線吉井駅より車で8分

聖マリア病院 外来診療体制

(2013年12月10日現在)

● 外来棟 3階 Aブロック

| 内線:2001,2002

	月	火	水	木	金	土
消化器内科	午前	●	●	●		●
外科	午前	●	●	●	●	●
呼吸器内科	午前	●(再診のみ)	●			●
呼吸器外科	午前		●		●	
リウマチ 膠原病内科	午前 ☎	※新患は事前に電話で問い合わせてください	●			●

● 外来棟 3階 Bブロック

| 内線:2003

	月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	●	●	●	●	●
小児整形外科	午後					☎ ● ※初診は予約不要
脳神経外科	午前	●		●(午後も)		● (第3週、午後)
脳血管内科	午前	●	●	●	●	●
神経内科	午前		●			
	午後					● (第1週)

● 外来棟 3階 Cブロック

| 内線:2004

	月	火	水	木	金	土
形成外科	午前	※熱傷は形成外科 ●	●	●	●	●
	午後					
皮膚科	午前	●	●	●	●	●
泌尿器科	午前	●	●	●	●	●
腎臓内科	午前	(外来開始時間 9:30~) ●	●	●	●	●
	午後				● (CKD外来)	

● 外来棟 3階 Dブロック

| 内線:2005

	月	火	水	木	金	土
産婦人科	午前	●	●	●	●	●
	午後	●	● (再来 予約のみ)	● (婦人科腫瘍専門外来)	☎ ● (婦人科腫瘍専門外来)	
放射線科	午前	●				
血液内科 内線:2006	午前 ☎	●				
緩和ケア内科	午前 ☎	● ※新患は紹介状持参を	●	●	●	
	午後 ☎	●	●	●	●	

● 外来棟 3階 Eブロック

| 内線:2007

	月	火	水	木	金	土
精神神経科 ・心身症 ・クリニック	午前 ☎	● ※新患は予約制	●	●	●	●

聖マリア病院 外来診療体制

(2013年12月10日現在)

● 外来棟 3階 Fブロック | 内線:2008

	月	火	水	木	金	土
歯科・口腔外科	午前	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●

● 外来棟 3階 Gブロック | 内線:2009

	月	火	水	木	金	土
耳鼻いんこう科	午前	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●
眼科	午前	●	●	●	●	●

● 外来棟 2階 Sブロック | 内線:2125, 2126

	月	火	水	木	金	土
循環器内科	午前	●	●	●	●	●
	午後		●		●	
小児循環器内科	午前	(外来開始時間 10:00~)	●			●
	午後		●			
心臓血管外科	午前		●	●	(下肢静脈瘤・動脈瘤:木曜10:00~)	
糖尿病内分泌内科	午前	●	●	●	●	●

● 小児棟 1階

	月	火	水	木	金	土
小児科 内線:2021	午前	● ※小児科は15歳まで	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●
新生児科 内線:2031	午前	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●
小児外科 内線:2026	午前	●	●	●	●	●
小児歯科 内線:2053	午前	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●
矯正歯科 内線:2053	午前	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●

● 診療受付時間 | 午前8時30分～11時30分、午後診療は予約をお願いしております。(夜間救急・日祝日の受け付けは地域医療支援棟1階にて行います)

● 夜間・日曜祝日の当直体制 | 内科・外科・整形外科・産婦人科・形成外科・小児科・新生児科・脳神経センター・腎センター・循環器センター・画像診断部の各医師。なお、眼科については夜間のみオンコール制(呼び出し)。

● 耳鼻いんこう科・皮膚科・歯科について | 夜間・日曜祝日の診療は行っておりません。

※諸々の事情により、上記の予定に変更が生じる場合もございますが、どうぞご了承ください。

新しい内視鏡センターが稼働

聖マリア病院消化器内科は7人の医師、および多くのスタッフから構成されています。

当科の診療は大きな三つの柱から成り立っています。一つ目は外来・病棟診療、次に救急診療、最後は内視鏡診療で、中でも内視鏡診療は当科の大黒柱です。対象となる臓器は上下部消化管、胆・脾、小腸と消化管全般を網羅しています。内容も多岐にわたっており、最近では上下部悪性腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術を積極的に行っています。



新しい内視鏡センターの入り口



新しい内視鏡室内

昨年12月2日に内視鏡センターが新設され稼働しています。センターには最新の内視鏡機器を搭載した6つの内視鏡室、鎮静剤使用時の回復室、カンファレンスルームなどが備えられています。今後はこの新・内視鏡センターを中心として日々の診療を行う所存ですので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

知っていますか？ 紹介患者予約コールセンター

聖マリア病院では、初診患者さんの予約を承る、紹介患者予約コールセンターを昨年4月に開設しております。これは当院と連携を結んでいる地域の医療機関を受診され、その後当院を紹介で受診される場合に利用できる、医療機関専用のコールセンターです。これにより、初診の場合でも短い待ち時間で外来受診ができるようになりました。当院を受診される際は、かかりつけの先生にお尋ねください。

0120(50)3453 | 連携推進部 地域連携係

※紹介患者予約コールセンターは患者さんが直接予約することはできません。

※連携登録医療機関とは、聖マリア病院が地域の553の病院・診療所（平成25年12月現在）と連携登録を結んでいる医療機関です。お近くの連携登録医療機関をお調べになりたい場合は、聖マリア病院のホームページ、又は外来棟1階とタワー棟1階に設置しております「聖マリア病院 連携登録医療機関検索モニター」よりご確認ください。

※下記診療科のご予約は対象外となりますので、予めご了承ください。

放射線治療科、精神科、血液内科、緩和ケア内科、歯科・口腔外科、小児歯科、矯正歯科

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院

(財)日本医療機能評価機構認定病院

福岡県久留米市津福本町422

TEL 0942(35)3322(代) FAX 0942(34)3115(代)

<http://www.st-mary-med.or.jp>

広報誌についてのお問い合わせは経営企画室広報担当まで

